

エクストリームチャレンジ in 四国の右下 ファイナル

■オープンクラス(フル) 優勝チームコメント

B けもの道 矢野 裕介さん

チーム B けもの道
長井・小松・うなぎ(矢野)
文章はうなぎ。

四国山脈の壁に塞がれた高知県はバブルが来るのも遅くはじけるのも遅い。およそ5年ぐらいしてから本州の流れが入ってくるのは今も昔も変わらないと思う。トレイルランニングでさえここ3年ぐらいでようやくゼピオにトレラン用品がほんのり入荷しだしたぐらい。靴を買うためだけに神戸に行く事も度々あった。TSUTAYA にトレランの本を毎回取り寄せて貰っていた。だから「アドベンチャーレース」といったカテゴリーを目標にしている人は中々出会えない。そんな環境でも思いは通じて三年前にチームを組んだ高知県三人組。早速自転車を購入し長距離移動やカヤック練習地図読みを各自コツコツ、時には皆で練習してきた。三人で初めて出た大会はタイムアップでショートカットを余儀なくされ、悔しい思いをした。今回チームで出場した大会はこれで3回目。今までの地道な努力と運をつかんで優勝、嬉しかった。

・今回印象に残っている場所は、CP12 からコンパス直進を決め急斜面を暗闇の中ドンドン降りていく長井さんが、藪を漕いだ先に地面がなく、モモンガみたいなポーズで地面に落下していくのを目撃した事。

・DAY2 でトップで駅まで着いた時、電車が来るまで小松さんが自販機で HOT カフェオレと持参していたクロワッサンを食べてるのを見た時。